

地域のつながりで災害に備えよう

大切にしたい
3つの「助」け合い

災害が発生したとき、「自助」「共助」「公助」の3つの助け合いが大切です（図1）。「自助」とは自分の安全は自分で守ること、「共助」とは地域やコミュニティの人たちで助け合うこと、「公助」とは自治体や警察、自衛隊などの公的機関による救助や支援のことをいいます。災害の規模によっては、「自助」や「公助」だけでは対応が困難な場合があり、地域住民の助け合いによる「共助」での備えが必要不可欠です。



図1

共助の要「自主防災組織」

災害対策基本法に規定されている、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う地域住民による自主的な組織。日頃は防災知識の普及や災害危険の把握、防災用資機材の整備を、災害時には情報の収集・伝達、住民の避難誘導、負傷者の救出・救護等の活動が期待されています。

自主防災組織で
災害に強い地域づくりを

市では「共助」による災害への備えとして、地域住民が自主的に連帯して防災活動を行う「自主防災組織」の設立を推進しています。また、自主防災組織が災害の被害軽減のために使用する防災資機材の購入費の補助制度も設けています。補助制度を上手に活用して、災害に強い地域づくりにつなげましょう。

自主防災組織の活動を応援します

①防災資機材の購入費を補助（補助率8割／上限4万円）

分類	具体例
生活用品	救急セット、防塵マスク、非常食・飲料水、ウェットシート、紙おむつ、生理用品、防水シート、長靴、合羽、軍手、乾電池、カイロ、毛布、懐中電灯、手指消毒剤
救出・救助用品	スコップ、ジョレン、一輪車、救助用工具、担架、ヘッドライト、油圧式ジャッキ、救助用ロープ、土のう袋、AED、ヘルメット、チェーンソー、車椅子、リヤカー、はしご、消火器
避難所運営用品	簡易トイレ、段ボールベッド、投光器、トランシーバー、メガホン、扇風機、石油ストーブ、コードリール、カセットコンロ、ラジオ・テレビ（災害時情報収集用）、移動式かまど、ランタン、ガソリン携行缶
倉庫・保管庫	防災用品格納用の倉庫・保管庫
その他の資材	土のう用砂、防災倉庫の修繕及び土のう用砂置場設置経費のうち材料代

②防災訓練の経費を補助（補助率6割／上限4万円）

分類	種類	具体例
炊出し訓練	材料費	米、おにぎり・汁用具材（容器やはし等の消耗品は対象外）、試食用の非常食（アルファ化米や乾パンなど）
防災学習会	消耗品費	文房具等
	講師謝金	講師への謝礼金

③非常用電源購入費を補助（補助率8割／上限15万円）

分類	具体例
発電機	可搬型で定格出力が0.7kVA以上のもの
蓄電池	可搬型で定格出力が500W以上のもの

※令和8年度までの補助事業です。

補助金申請のながれ

- ① 交付申請※申請は1回のみ可能
【必要書類】
 - ・交付申請書・収支予算書または事業計画書
 - ・購入予定機材等の見積書の写し
 - ・購入予定機材のパンフレットやカタログ
- ② 交付決定
↓
交付決定通知書が届きます
- ③ 資機材等の購入
↓
※必ず市の交付決定通知後に購入
- ④ 事業完了報告
【必要書類】
 - ・実績報告書・補助金請求書
 - ・支出が確認できる書類（領収書・振込依頼書の写し等）
 - ・購入資機材の数量と保管場所がわかる写真
- ⑤ 補助金の交付

岡市民安全課（防災係）

☎ 82-0250



ID 1526

上三井庄自治会では、自主防災組織に関する補助制度を利用して、自治会での災害対策に取り組んでいます。高見自治会長に補助制度を利用したきっかけや自治会で行っている災害への備えについて聞きました。

補助を利用したきっかけ

「自治会長になった令和4年7月、大雨で水路が氾濫し、道路に水があふれかけていました。公民館に土のうを取りに行きましたが、劣化して使用できないものが多く悩みました。雨は次第に弱まり、大きな被害にはなりませんが、もう少し降り続いたら大きな災害になっていた可能性もあり、日頃からの備えが大切だと実感しました。」



補助制度で購入した土のう袋と砂。スコップで土のうづくりを行う自治会員

「後日、市役所に相談したところ、自主防災組織を設置している自治会は補助制度が活用できることを知りました。早速、申請を行い、補助制度を利用して土のう袋と砂を購入し、自治会役員で土のうをつくり置きしました。」

現在行っている災害対策

「大雨の際に、水路が氾濫しかけてから土のうを運ぶのは危険を伴い、雨が激しくなってきたら水を含んだ土のうはより重く運びにくくなるため、十分な対応ができないこともわかりました。その経験から、あらかじめ水害が発生しそうな家庭には、土のうを持ち帰って置いてもらうように呼びかけました。高



過去に購入した白い土のう袋は劣化し、破れやすかったため、補助制度を利用して耐久性のある黒いUV土のう袋を購入し、上からかぶせて活用している。



上三井庄自治会（春日地域）
 自治会長 高見 広幸さん

齢者など持ち運ぶのが困難な場合は、近所の人の協力をお願いし、持ち帰った土のうはそれぞれの家庭で保管して、必要な時に使用いただけます。また、スコップやジョレンも補助対象でしたので、購入して公民館に置いておくことで自宅から持参する必要がなくなり、土のうづくりがしやすい体制を整えることができました。」

「災害はいつ発生するかわからないため、補助制度などを上手に活用しながら、『自分たちのことは自分たちで』の意識をもち、必要な資材を確保し、災害に備えていきたいと考えています。」

関西電力送配電から台風への備えについて

台風への備え

台風襲来時はトタンやビニールシートなどが飛ばされやすく、電柱や電線に接触して停電が発生することがあります。台風が来る前に点検し、飛散防止対策をしましょう。

電気事故防止

台風の影響で切れた電線や、折れたり傾いたりした電柱は、感電のおそれがあり危険です。絶対に近寄らず、引っかけた飛散物にも絶対に触れないでください。発見された場合は、関西電力送配電に連絡をお願いします。



停電情報はアプリでチェック！

関西エリアの停電情報や復旧見込み時間を確認できます。



☎ 関西電力送配電(株)
 ☎ 0800-777-3081（フリーコール）



関西電力送配電
 ←チャットサービス



←市ホームページのID検索で詳細情報にアクセス